

科目名	造形表現Ⅱ						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	必修	1	1	後期			
担当者名	原井 輝明	関連する資格	保育士資格 必修 幼稚園教諭二種免許 選択				
<b>授業概要</b> 造形表現Ⅰで習得してきたことを踏まえてその幅を広げ、深めていく。 自然や身近にある物を利用して造形表現に必要なと思われる体験を蓄積し、創造する喜びを会得する。 その学び得たことを伝えていく技量や手段を身につけていく。							
<b>到達目標</b> 材料の性質、道具・画材の扱い方を学びながら技法を身につけ、作品作成の喜びを感じ取る。 クロッキーを通して人物や動物の動作を絵で表現する。			<b>成績評価方法</b> レポート、演習の振り返りシート、定期試験による総合評価。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）	○	○		○			40
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○			10
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		15
プレゼンテーション							
グループワーク			○	○			10
演習	○	○	○	○	○	○	25
実習							
授業計画と概要				アクティブラーニング			
1) ガイダンス、粘土の種類 様々な粘土素材を楽しむ（紙粘土、油粘土）				グループワーク			
2) 粘土の種類 様々な粘土素材を楽しむ（小麦粉粘土）				グループワーク			
3) 土粘土の性質 粘土粉末をこねる				グループワーク			
4) 成型の用具説明および技法 様々な技法（たたら作り、ひも作り、くり抜き）							
5) 陶芸制作 成型							

6) 陶芸制作	
素焼き・釉薬掛け	
7) 陶芸制作	レポート
本焼き、陶芸まとめレポート	
8) 版画の種類と作成	
さまざまな版画、版あそび（スタンピングの応用）	
9) 紙版画の制作	
版づくり	
10) 紙版画の制作	
磨り	
11) サインの入れ方	作品提出
紙版画の応用 素材の工夫（布、糸、など）	
12) 紙版画の応用	
版づくり	
13) 紙版画の応用	
磨り	
14) スチレン版画技法と制作	作品提出
摺り	
15) 版画作品提出、まとめ	作品提出
まとめ、試験について	
授業外学習	
<p>授業内で必要なものに関しては、前回にアナウンスをする。持参物・服装などの準備が整わず、授業時間を無駄にしないよう、授業前準備をしっかりとすること。</p> <p>やむを得ず欠席した場合は、次回授業に支障がないよう各自で情報を集め、準備をすること。また、抜けた課題は空き時間で行い、遅れを取り戻すこと。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「新造形表現<実技編>」花篤實他著（三晃書房） その他：配布プリント	造形表現Ⅰ 造形表現Ⅲ 造形表現Ⅳ
備考	
汚れても構わない服装で授業に臨むこと。 【オフィスアワー】原井輝明 harai@ube-c.ac.jp	